

■ 網島梁川(栄一郎)
つなしまりょうせん
明治6年政変 1873 =

宗教思想家，評論家。「余の見神の実験」発表し，大反響となるも，直後に早世。

岡山県上房郡有漢村(高梁市)で，村区長網島長一郎の長男に生まれる。本名栄一郎。

明治14年政変1881 = 8歳：
新体詩抄・・・1882 = 9歳：

帝国大学始・・・1886 = 13歳：知新高等小学校を卒業し，同校の助教となる。

帝国憲法発布1889 = 16歳：
帝国議会始・・・1890 = 17歳：岡山の高梁教会で古木虎三牧師より 洗礼を受ける。
足尾鉞毒始・・・1891 = 18歳：初めて「白隠全集」に触れ，キリスト者ながら，白隠の真理を求める姿勢に共感，
大本教・・・1892 = 19歳：東京専門学校(早稲田大学)に入学。専修英語科を経て，文科に進み，坪内逍遙，大西祝の教えを受ける。

日清戦争始・・・1894 = 21歳：
日清戦争終・・・1895 = 22歳：論文「道徳的理想論」を提出して，卒業。逍遙の{早稲田文学}の編集に従事，文芸・美術評論を書き，高山樗牛との歴史画論争などで力を示す一方，横井時雄の本郷教会や植村正久の一番町教会に出席。

松隈内閣・・・1896 = 23歳： 略血して入院，
八幡製鉄始・・・1897 = 24歳： 退院。以後，入退院を繰り返すうち，
Bushidou・・・1899 = 26歳： 正統的な神学に懐疑的になって，倫理に傾倒し始め，
ビブ/国産化・・・1900 = 27歳： *{日本教育}の主筆となり，文芸評論家として活動すると同時に，倫理学者としても活動。
田中正造直訴1901 = 28歳： 逍遙との共著「近松の研究」，翻訳「スチーブン氏倫理学」「マッケンジー氏倫理学綱要」「ルナン氏耶蘇伝」，
教科書疑獄・・・1902 = 29歳： 翻訳「(ジョン・ワトソン)快樂派倫理」，
肺結核で神田の吉田病院に入院しているときに，副院長の橋本善次郎，神戸教会牧師の海老名弾正と出会

って信仰を回復。病身になってからは，主に宗教の論評を発表するようになり，
日露戦争始・・・1904 = 31歳： 三度にわたる宗教体験が，その都度深度を増し，鮮明なものとなって，
日露戦争終・・・1905 = 32歳： 「梁川文集」。*{新人}に「余の見神の実験」(「病問録」に収録)に発表，大きな反響で代表作となったが，
韓国反日暴動1907 = 34歳： 肺結核のため，没した。
没後，網島を敬慕する人々により，各地で梁川会が起こり，弟子の一人の宇佐見英太郎が梁川会の参加者の所感をまとめて「回覧集」全7巻を編集した。没年の「回光録」以降，出版も続いた(「春秋倫理思想史」「寸光録」「欧洲倫理思想史」「書簡集」「我観録」「病窓雑筆」「古今漢文評釈」「梁川全集」「網島梁川集」「宗教文集」)。